

富山県民生涯学習カレッジ連携講座

富山大学オープン・クラス 受講生募集要項

富山大学では、「オープン・クラス」と称して、
学生のための通常の授業を地域の皆様に公開し、
広く学びの場を提供しています。

ぜひ本学の学生・教職員と一緒に
キャンパスライフをお楽しみください。

2019
後学期



2019 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス 高岡キャンパス		杉谷キャンパス
	クォーター制※	セメスター制※	セメスター制※
授 業	10月2日(水)～ 11月22日(金) 12月2日(月)～ 12月24日(火) *一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	10月2日(水)～12月24日(火) *一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	
冬季休業	12月25日(水)～1月6日(月)		
授 業	1月7日(火)～2月3日(月)		
補 講	11月25日(月)～ 11月29日(金) 2月4日(火)～ 2月12日(水)	2月4日(火)～ 2月12日(水)	2月4日(火)～ 2月18日(火)
	*科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		
注 意	* 1月17日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。		
	* 10月16日(水)、11月7日(木)は月曜日の授業を行います。 * 10月25日(金)は火曜日の授業を行います。 * 12月24日(火)は金曜日の授業を行います。		

※ セメスター制 2 学期制（前期・後期とし、各期終了後、補講、試験を行う。）

※ クォーター制 4 学期制（期間を 4 つに分け、各期間の間に授業・補講、試験を行う。）

授 業 時 間

時限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	夜1限 (6限)	夜2限 (7限)
時間	8 : 4 5 }	1 0 : 3 0 }	1 3 : 0 0 }	1 4 : 4 5 }	1 6 : 3 0 }	1 8 : 1 0 }	1 9 : 5 0 }
	1 0 : 1 5	1 2 : 0 0	1 4 : 3 0	1 6 : 1 5	1 8 : 0 0	1 9 : 4 0	2 1 : 2 0

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、大学院、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をさらに深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生^{（注1）}として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注1）「オープン・クラス」の受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

目 次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

I	実施形態	4
II	受講手続	5
III	受講に際して	6
IV	その他	7
	オープン・クラス授業科目一覧	
	○教養教育（五福）	8
	○専門科目	
	・人文学部	9
	・人間発達科学部	11
	・経済学部	13
	・理学部	14
	・工学部	16
	・都市デザイン学部	19
	○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））	
	・人間発達科学研究科	21
	・経済学研究科	22
	・理工学教育部（理学領域）	23
	・理工学教育部（工学領域）	24

高岡キャンパス

I	実施形態	26
II	受講手続	27
III	受講に際して	28
IV	その他	29
	オープン・クラス授業科目一覧	
	○専門科目	
	・芸術文化学部	30

杉谷キャンパス

I	実施形態	32
II	受講手続	33
III	受講に際して	34
IV	その他	35
	オープン・クラス授業科目一覧	
	○専門科目	
	・医学部	36

受講希望調書	37
--------	----

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学 研究振興部 社会貢献課

〒930-8555 富山市五福3190

TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

I 実 施 形 態

(公開授業科目)

- 1 公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」(P 8～24 参照)に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

- A 入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学1年次生対象の授業）
- B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学2～3年次生対象の授業）
- C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学3～4年次生対象の授業）
- D 高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））^{*}の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」(<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>)に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

(募集定員)

- 2 募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン・クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

(開講期間)

- 3 **2019年10月2日（水）～2020年2月3日（月）**

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「2019年度後学期授業日程」でご確認ください。

(試聴授業)

- 4 試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

(修了証書)

- 5 オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の2/3以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

- 6 オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（1時間を1単位とし、5単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ 受 講 手 続

(受講希望調書受付期間)

- 1 **2019年9月2日（月）～9月13日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

- 2 本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記五福キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・Eメールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、Eメールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学 研究振興部 社会貢献課

〒930-8555 富山市五福 3190

TEL 076 - 445 - 6956 FAX 076 - 445 - 6033

Eメール lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

- 3 「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試験時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試験期間)

- 4 **2019年10月2日（水）～10月16日（水）**

受講生が授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試験期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試験期間中に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

(受講科目の登録)

- 5 受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試験期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要な書類等は次のとおりです。

- ・受講届
- ・受講料
- ・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試験期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

(受講料の納付等)

- 6 受講登録時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

1 授業科目 9,300 円 (税込) (大学院 (HGOC) も受講料は同額です。)

(一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)

なお、消費税率の引き上げが令和元年 10 月 1 日以降に施行される場合は、受講料 9,300 円は 9,400 円 (税込) に、13,300 円は 13,500 円 (税込) に変更となりますので、予めご了承ください。

また、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となりますのでシラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

(受講証の交付)

- 7 受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いいたします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は 1 枚のみの発行となります。

Ⅲ 受講に際して

(受講生の義務)

- 1 受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

(受講の停止)

- 2 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

(休・補講、教室変更について)

- 3 これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ (裏表紙の裏) を参照ください。

(受講生の呼び出し等)

- 4 授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。
また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

(図書館の利用)

- 5 附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

(福利厚生施設の利用)

- 6 受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

(損害賠償)

- 7 受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

(保険制度)

- 8 授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

(通学方法)

- 9 キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故等が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ そ の 他

- 1 「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

- 教養教育
学務課 教養教育支援室 電話 076-445-6031
- 人文学部
人文学部学務課人文学部担当 電話 076-445-6138
- 人間発達科学部、人間発達科学研究科
人間発達科学部学務課人間発達科学部担当 電話 076-445-6258
- 経済学部、経済学研究科
経済学部学務課経済学部担当 電話 076-445-6500
- 理学部、理工学教育部（理学領域）
理工学教育部学務課理学部担当 電話 076-445-6547
- 工学部、理工学教育部（工学領域）
理工学教育部学務課工学部担当 電話 076-445-6701
- 都市デザイン学部
理工学教育部学務課都市デザイン学部担当 電話 076-445-6698

- 2 授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部等の掲示板をご覧ください。

- 3 受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	外国文学	佐藤 真基子	月・1	共 C21	若干名	A	
2	健康・スポーツ／講義	大川 信行	月・2	共 D12	若干名	A	
3	現代社会論	橋本 勝	月・2	共 D21	若干名	A	一般学生に混じってグループのメンバーとなりアクティブラーニングに取り組んでもらうことになります。自グループの学生の意向によっては授業外で集まる可能性もあります。
4	健康・スポーツ／講義	布村 忠弘	火・1	共 D11	若干名	A	パソコン (Moodle) 使用
5	こころの科学	黒川 光流	火・2	共 C22	若干名	A	
6	基礎化学 C	鈴木 正康	火・3	共 C13	若干名	A	
7	言語表現	佐山 三千雄	火・4	共 C21	若干名	A	
8	富山から考える震災・復興学	大坂 洋	火・5	共 D21	若干名	A	パソコン (Moodle) 使用
9	人間と倫理	澤田 哲生	火・5	共 C22	若干名	A	
10	発展多言語演習ラテン語	佐藤 真基子	水・5	共 A33	若干名	B	
11	物理学序説Ⅱ	栗本 猛	木・2	共 C11	若干名	A	Moodle を使用しますが、正規学生の課題提出用なので、単位の不要なオープンクラス受講生は Moodle なしでも可

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	日本史特殊講義	熊谷隆之	木・3	人文1	5	B	
2	古文書学実習	熊谷隆之	金・3	人文4	5	B	
3	音声学Ⅱ	呉人恵	月・3	人文701	若干名	B	
4	考古学特殊講義	高橋浩二	火・1	人文1	2	B	
5	アメリカ文化特殊講義	小野直子	火・1	人文4	若干名	B	
6	人間学演習Ⅰ	田畑真美	水・2	人文601	3	C	教室変更の可能性あり
7	人間学講読	田畑真美 澤田哲生	金・4	人文1	3	B	
8	人文地理学概論	鈴木晃志郎	木・3	人文4	5	A	
9	社会学概論	伊藤智樹	金・3	人文6	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
10	西洋史概説Ⅱ	南祐三	月・3	人文3	5	B	
11	現代と思想	澤田哲生	木・3	人文6	若干名	A	
12	文化人類学概論	藤本武	木・4	人文6	若干名	A	
13	ロシア言語文化演習Ⅰ	武田昭文	火・3	人文316	3	B	
14	ロシア言語文化講読Ⅱ	武田昭文	火・4	人文316	3	C	
15	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ マルガリータ	水・4	人文316	3	C	
16	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ マルガリータ	水・2	人文316	3	C	
17	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ マルガリータ	木・2	人文316	3	C	
18	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ マルガリータ	木・3	人文316	3	B	
19	ロシア文化論	カザケーヴィチ マルガリータ	木・4	人文316	3	C	
20	西洋史特殊講義	入江幸二	金・2	人文4	5	B	
21	日本語学概論	中井精一 小助川貞次	木・1	人文6	5	A	
22	日本語学特殊講義	小助川貞次	月・2	人文5	若干名	C	
23	日本語学講読	小助川貞次	火・2	人文5	若干名	B	
24	日本史概説Ⅰ	鈴木景二	火・5	人文3	5	A	
25	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・1	人文416	2	B	
26	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・2	人文416	2	C	
27	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・3	人文416	2	B	
28	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・4	人文416	2	C	
29	ドイツ語コミュニケーション （作文）初級	ヴォルフガング ツォウベク	水・3	人文416	2	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
30	ドイツ語コミュニケーション(作文) 中級	ヴォルフガング ツォウベク	水・2	人文 416	2	C	
31	ドイツ文化論	宮内 伸子	水・1	人文 3	3	B	事前に面接を行う
32	ヨーロッパ言語文化特殊講義	宮内 伸子	金・5	人文 5	3	B	事前に面接を行う
33	フランス文学史	中島 淑恵	月・2	人文 6	若干名	B	パソコン (Moodle) 使用
34	フランス言語文化講読	中島 淑恵	火・4	人文 419	若干名	B	パソコン (Moodle) 使用中級程度のフランス語力が必要です。
35	英米言語文化演習 I	大工原 ちなみ	月・2	人文 1	若干名	B	
36	英米言語文化特殊講義	大工原 ちなみ	火・1	人文 2	若干名	B	
37	英米言語文化演習 II	大工原 ちなみ	火・2	人文 2	若干名	C	
38	言語学特殊講義 E	樋野 幸男	木・2	人文 2	5	B	
39	中国言語文化講読	森 賀一恵	火・2	人文 417	若干名	B	
40	中国語学概論 (b)	森 賀一恵	木・1	人文 417	若干名	B	
41	英語学講読 II	奥村 譲	水・2	人文 1	3名	C	
42	朝鮮語コミュニケーション(作文)	和田 とも美	金・3	人文 211	若干名	B	
43	朝鮮語コミュニケーション(会話)	宋 有宰	木・1	人文 211	若干名	A	
44	朝鮮語コミュニケーション(会話)	宋 有宰	火・3	人文 211	若干名	C	
45	ドイツ言語文化演習 I	黒田 廉	月・5	人文 416	3	B	事前に面接を行う
46	心理学概論 I	喜田 裕子 黒川 光流 坪見 博之	金・5	人文 4	若干名	A	
47	中国言語文化演習	大野 圭介	火・4	人文 417	若干名	B	現代中国語を最低1年間学習済みであることを前提に授業を行う。
48	中国文学概論	大野 圭介	木・2	人文 1	若干名	A	
49	哲学講読	池田 真治	金・2	人文 601	若干名	B	
50	西洋思想史	池田 真治	金・3	人文 3	若干名	C	
51	哲学特殊講義	池田 真治	火・3	人文 3	若干名	C	
52	西洋思想史	永井 龍男	月・3	人文 1	5	B	
53	哲学講読	永井 龍男	木・1	人文 3	3	A	
54	哲学概論	永池 龍男 田 真治	木・4	人文 4	5	B	
55	西洋古典語	永井 龍男	木・5	人文 601	3	B	

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	カウンセリング	石 津 憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	パソコン (Moodle) 使用
2	学級集団心理学	佐 藤 徳	火・3	人間 111	3	B	
3	認知心理学	小 川 亮	木・3	人間 211	3	B	
4	青年心理学	姜 信 善	木・4	人間 113	3	B	
5	発達心理学	姜 信 善	金・4	人間 111	3	B	
6	心理学研究法	小 川 亮	金・5	人間端末室	3	B	パソコン使用 (端末室の授業、Moodle 使用)
7	学校文化論	増 田 美 奈	木・1	人間 113	3	A	
8	地域交流活動論	隅 敦	木・2	人間 331	5	A	
9	幼児理解と相談支援	小 林 真	金・5	人間 111	5	A	
10	幼児教育・保育課程論	若 山 育 代	金・3	人間 113	3	C	
11	社会福祉概論Ⅰ	志 賀 文 哉	金・1	人間 211	5	A	
12	知的障害児の生理・病理Ⅰ	宮 一 志	木・1	人間 114	10	B	
13	病弱児の心理・生理・病理	宮 一 志	木・3	人間 114	10	B	
14	就労支援論	志 賀 文 哉	木・3	人間 116	5	B	8回開講、7,300 円
15	司法福祉論	小 林 真	木・4	人間 114	3	B	9回開講、7,300 円
16	保育原理	西 館 有 沙	木・4	人間 117	5	A	
17	保育者論	若 山 育 代	月・1	人間 111	3	B	
18	家庭支援論	西 館 有 沙	木・2	人間 113	5	B	
19	保育内容総論	若 山 育 代	金・2	人間 111	3	B	
20	軽度発達障害児教育総論	水 内 豊 和	火・2	人間 116	3	B	
21	児童福祉論	西 館 有 沙	火・4	人間 113	5	A	
22	地域と健康	布 村 忠 弘	火・5	人間 331	10	B	
23	スポーツ心理学	福 島 洋 樹	月・1	人間 311	10	B	
24	スポーツ社会学	神 野 賢 治	月・4	人間 311	3	B	
25	スポーツ史	大 川 信 行	水・1	人間 331	3	B	
26	学校と健康	布 村 忠 弘	木・4	人間 141	10	B	
27	スポーツ指導論	佐 伯 聡 史	金・3	人間 311	5	B	
28	スポーツ運動学	佐 伯 聡 史	火・3	人間 311	5	B	
29	スポーツ動作分析法	堀 田 朋 基	火・4	人間 342	5	B	
30	解剖学	布 村 忠 弘	木・1	人間 311	5	A	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
31	運動生理学	堀 田 朋 基	木・2	人間 311	5	B	
32	化学物質の機能と環境	片 岡 弘	火・2	人間 化学実験室	5	A	パソコン (Moodle) 使用
33	生活工学	秋 月 有 紀	木・1	人間 211	5	A	
34	都市景観論	秋 月 有 紀	木・2	人間 211	5	A	
35	人間安全保障論	池 田 丈 佑	木・2	人間 221	3	B	パソコン (Moodle) 使用
36	比較地域論	山 根 拓	月・3	人間 211	5	B	
37	基礎地域史	中 村 只 吾	火・2	人間 113	5	B	
38	科学ジャーナリズム論	林 衛	木・1	人間 2308	3	B	
39	地球市民社会論	池 田 丈 佑	水・2	人間 211	3	B	パソコン (Moodle) 使用
40	熱とエントロピー	成 行 泰 裕	金・4	人間 221	3	C	
41	基礎生物学	安 本 史 恵	火・3	人間 116	3	B	
42	全地球史	河 村 愛	火・4	人間 114	5	A	
43	メディア芸術論	鼓 みどり	火・3	人間 342	3	B	
44	ことばとコミュニケーション	宮 城 信	火・5	人間 332	5	A	
45	英語学	荻 原 洋	木・2	人間 332	3	A	
46	情報コミュニケーション学特別講義	宮 城 信	金・2	人間 311	5	A	
47	線形システム概論	石 川 秀 明	金・4	人間 342	3	A	

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	会社法	石 田 真	月・3 水・1	未定	3	B	13,300 円
2	ミクロ経済学Ⅱ	岩 田 真一郎	火・1 金・3	未定	10	B	13,300 円
3	経済学入門	岩 田 真一郎	金・1	未定	5	A	パソコン (Moodle) 使用
4	民事訴訟法	岩 本 学	木・6 木・7	未定	3	B	13,300 円
5	政治経済学	大 坂 洋 松 山 淳	月・4 木・4	未定	5	B	13,300 円
6	政治経済学	大 坂 洋 松 山 淳	水・6 水・7	未定	5	B	13,300 円
7	経済史総論	大 西 吉 之	月・4 木・4	未定	3	B	13,300 円
8	経済学入門	小柳津 英 知 大 坂 洋	金・6	未定	5	A	
9	現代経済入門	小柳津 英 知 大 坂 洋	金・7	未定	5	A	
10	入門法学Ⅱ A	木 戸 茜	木・2	未定	若干名	A	
11	財産法Ⅱ	木 戸 茜	月・6 月・7	未定	若干名	B	13,300 円
12	ファイナンスの基礎	白 石 俊 輔	火・4	未定	3	B	
13	特殊講義 会計ディスクロージャー	鈴 木 基 史	火・4	未定	3	B	開講曜限変更予定
14	経済法	中 出 孝 典	月・2 木・2	未定	3	B	13,300 円
15	経済学入門	中 村 和 之	金・1	未定	5	A	パソコン (Moodle) 使用
16	地方財政論	中 村 和 之	月・6 月・7	未定	5	B	パソコン (Moodle) 使用 13,300 円
17	金融取引法	福 井 修	金・6 金・7	未定	3	B	13,300 円
18	証券市場論	本 間 哲 志	水・2	未定	10	B	
19	金融機関論	本 間 哲 志	金・4	未定	10	B	
20	人的資源管理	馬 駿	火・2 金・2	未定	3	B	13,300 円
21	憲法Ⅱ（統治機構）	宮 井 清 暢	火・2 金・2	未定	3	B	13,300 円
22	比較経営論	森 岡 裕	木・6 木・7	未定	5	B	13,300 円
23	日本経済史	矢 島 桂	火・3 木・1	未定	10	B	13,300 円
24	金融論Ⅱ	山 田 潤 司	月・2 木・2	未定	3	B	13,300 円
25	オペレーションズ・リサーチ	横 山 一 憲	火・3 木・1	未定	5	B	13,300 円
26	入門法学Ⅱ B	森 嶋 秀 紀	木・2	未定	5	A	

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	解析学 B	上 田 肇 一	木・4	理 A 2 3 8	若干名	C	(注 1)
2	線形代数学 B	川 部 達 哉	金・3	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
3	集合論	古 田 高 士	木・5	共 C 1 3	若干名	C	(注 1)
4	解析学Ⅲ	阿 部 幸 隆	月・3 金・5	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1) 前半 (～ 11/29) 開講
5	解析学Ⅳ	阿 部 幸 隆	月・3 金・5	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1) 後半 (12/2 ～) 開講。解析学Ⅲの内容を修得していること。
6	代数学 I	山 根 宏 之	金・4	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
7	位相空間論Ⅱ	永 井 節 夫	木・3	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
8	複素解析学 I	菊 池 万 里	木・2	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
9	実解析学 I	出 口 英 生	火・5	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
10	プログラミングⅡ	木 村 巖	水・5	理 A 1 3 5	若干名	C	(注 1) パソコン使用 (端末室の授業 Moodle 使用)
11	微分方程式論 I	藤 田 安 啓	月・3	理 A 2 3 8	若干名	C	(注 1)
12	代数学Ⅲ	木 村 巖	火・1	理 A 2 3 8	若干名	C	(注 1) パソコン (Moodle) 使用
13	幾何学Ⅱ	古 田 高 士	木・4	理 A 3 3 7	若干名	C	(注 1)
14	数値解析学	上 田 肇 一	月・2	理 A 2 3 8	若干名	C	(注 1)
15	数学英語	永 井 節 夫 幸 山 直 人	火・2	理 C 2 0 3	若干名	C	(注 1)
16	代数学特論 B	山 根 宏 之	木・2	理 A 3 3 7	若干名	C	(注 1)
17	幾何学特論 B	古 田 高 士	水・2	理 A 3 3 7	若干名	C	(注 1)
18	応用数理特論 B	藤 田 景 子	月・4	理 A 4 2 4	若干名	C	(注 1)
19	物理学概論Ⅱ	小 林 かおり	木・2	理多目的 ホール	5	A	
20	力学序論	桑 井 智 彦	木・5	理 A 2 3 8	若干名	A	
21	物理数学 A	栗 本 猛	金・4	理 A 2 3 8	5	C	
22	力学 C	柿 崎 充	木・3	理 A 2 3 9	5	B	
23	電磁気学 A	森 脇 喜 紀	火・2 水・2	理 C 1 0 4	5	A	前半 (～ 11/29) 開講 パソコン (Moodle) 使用
24	電磁気学 B	森 脇 喜 紀	火・2 水・2	理 C 1 0 4	5	A	後半 (12/2 ～) 開講。電 磁気学 A の内容を修得して いること。 パソコン (Moodle) 使用
25	熱力学	田 山 孝	火・4	理 A 2 3 8	若干名	B	
26	統計力学 A	畑 田 圭 介	月・5 火・3	理 A 2 3 9	5	C	前半 (～ 11/29) 開講 熱力学の内容力学電磁気学 量子力学の初歩的内容を修 得していること。
27	統計力学 B	畑 田 圭 介	月・5 火・3	理 A 2 3 9	5	C	後半 (12/2 ～) 熱力学の内容力学電磁気学 量子力学の初歩的内容を修 得していること。
28	量子力学 C	柿 崎 充	火・2	理 A 2 3 9	若干名	C	
29	相対性理論	柿 崎 充	火・4	理 A 2 3 9	5	C	
30	電磁波物理学	小 林 かおり	水・2	理 A 2 3 8	5	B	量子力学あるいは量子化学 の初歩を習得しているこ と。
31	物性物理学 B	池 本 弘 之	木・2	理 A 2 3 8	5	C	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
32	化学概論Ⅱ	宮澤 眞 宏	金・2	共C13	5名程度	A	パソコン (Moodle) 使用
33	化学熱力学Ⅰ	岩村 宗 高	木・5	理A239	5名程度	A	
34	量子化学Ⅰ	野崎 浩 一	金・5	理A238	5名程度	B	
35	有機化学Ⅱ	林 直 人	木・1	理A239	5名程度	A	
36	放射線基礎学	波多野 雄 治	火・1	理多目的 ホール	若干名	A	
37	化学反応学	大澤 力	月・1	理A337	5名程度	B	
38	有機化学Ⅴ	宮澤 眞 宏	月・2	理A337	5名程度	C	パソコン (Moodle) 使用
39	有機化学Ⅵ	横山 初	木・2	理A239	5名程度	B	
40	生物化学Ⅰ	井川 善 也	金・2	理A239	10名程度	B	
41	化学平衡学	原 正 憲	火・1	理C202	若干名	B	
42	溶液化学	鈴木 炎	金・2	理A425	若干名	C	
43	材料科学	田口 明	火・2	理C202	10名程度	B	
44	合成有機化学	松村 茂 祥	木・2	理A425	5名程度	C	
45	機器分析化学	林 直人 ほか	金・1	理A425	若干名	C	
46	植物生理学	唐原 一 郎	水・2	理C105	5	B	
47	共生機能科学	土田 努	火・5	理A239	5	B	
48	発生制御学	若杉 達 也	火・2	理A337	5	C	
49	一般地質学	大藤 茂	木・5	理A424	若干名	B	
50	環境基礎生物学A	酒徳 昭 宏	金・4	理C104	若干名	B	
51	生物圏環境科学特別講義 (地方創生環境学)	丸茂 克 美	金・5	理A424	若干名	A	
52	地球生命環境理学	堀川 恵 司	木・3	共C21	若干名	A	
53	古生物学	柏木 健 司	木・4	理C203	若干名	B	
54	植物生態学	和田 直 也	木・1	理C105	若干名	B	
55	生態学	石井 博	木・2	理C105	若干名	B	
56	保全生物学	横畑 泰 志	水・2	理A239	若干名	B	
57	環境化学計測	倉光 英 樹	火・2	理A424	若干名	B	
58	環境生物学	酒徳 昭 宏 中村 省 吾	月・1	理C105	若干名	B	
59	群集生態学	石井 博	水・2	理C104	若干名	B	

(注1) 当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。
受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので
受講生窓口 (社会貢献課) までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については受講開始後でも変更することがありますのであらかじめご了承ください。なお諸連絡
は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	電子物性工学Ⅱ	中 茂 樹	月・1	工25	若干名	B	
2	電気エネルギー工学2	伊 藤 弘 昭	月・2	工25	若干名	B	
3	半導体デバイス1	前 澤 宏 一	月・3	工27	若干名	B	
4	デジタル電子回路	戸 田 英 樹	月・4	工27	5	B	
5	集積回路工学	岡 田 裕 之	月・4	工25	若干名	B	
6	アナログ電子回路2	中 島 一 樹	火・1	工27	5	B	
7	システム制御工学2	平 田 研 二	火・1	工25	5	B	
8	基礎化学（C）	鈴 木 正 康	火・3	共C13	5	A	
9	音響工学	安 藤 彰 男	水・1	工25	5	B	
10	電気数学3	小 出 明	水・2	工26	5	B	
11	送配電工学2	田 中 和 幸	水・2	工25	5	C	
12	電気回路1	鮎 井 賢 治	木・1	工26	5	A	
13	電磁気学1	中 茂 樹	金・1	工26	若干名	B	
14	信号処理工学	荻 戸 立 夫	金・1	工25	5	C	
15	電気機器工学1	大 路 貴 久	金・2	工27	5	B	
16	光工学	中 茂 樹	金・2	工25	若干名	B	
17	熱・波動	喜久田 寿 郎	金・3	工26	5	A	
18	デジタル信号処理	廣 林 茂 樹	月・2	工28	10	B	
19	フーリエ解析	長谷川 英 之	月・3	工26	5	A	
20	組込みシステム	片 桐 崇 史	月・4	工23	10	C	
21	ブレインコンピューティング	田 端 俊 英	火・4	工23	若干名	B	
22	データサイエンスⅡ	高 尚 策	水・1	工34	5	B	
23	知的システム	玉 木 潔	水・1	工24	10	C	
24	情報理論	玉 木 潔	水・2	工34	5	B	
25	情報セキュリティ	村 山 立 人	水・2	工24	5	C	
26	電子回路Ⅰ	田 端 俊 英	木・2	工28	若干名	B	
27	通信システム	菊 島 浩 二	木・2	工36	5	B	
28	微分積分Ⅱ	角 畠 浩	木・4	工28	10	A	
29	通信システム	菊 島 浩 二	木・4	工11	5	B	
30	マルチメディア工学	唐 政	木・4	工36	10	C	

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
31	プログラミング応用B	酒 井 充	金・1	工 28	若干名	B	プログラミング I 相当の知識が必要となります。
32	数値解析	片 桐 崇 史	金・4	工 21	5	B	
33	流体力学	川 口 清 司	火・1	工 26	5	B	
34	要素設計学第2	小 熊 規 泰	火・2	工 26	若干名	C	
35	基礎化学 (D)	手 崎 衆	火・3	共D 21	若干名	A	
36	計測工学・精密測定学演習	寺 林 賢 司	水・2	工 28、センター 2・3 F 端末室	5	B	パソコン (Moodle) 使用 端末室の授業
37	基礎流体力学	川 口 清 司	木・1	工 25	若干名	B	
38	線形代数 I (A)	瀬 田 剛	木・3	工 35	5	A	
39	基礎熱力学	手 崎 衆	木・3	工 25	若干名	B	
40	力学	関 本 昌 紘	木・4	工 35	5	A	
41	基礎センサ工学	笹 木 亮	木・4	センター2・ 3 F 端末室	若干名	B	パソコン使用 (端末室の授業)
42	材料力学第2	木 田 勝 之	金・1	工 35	5	B	
43	基礎材料工学	會 田 哲 夫	金・2	工 35	5	B	
44	シミュレーション工学	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	工 27、センター 2 階端末室	若干名	B	パソコン使用 (端末室の授業)
45	ロボット工学	関 本 昌 紘	金・4	工 27	5	B	
46	生体医工学Ⅱ	中 村 真 人	月・2	工 22	10	B	
47	システム工学	黒 岡 武 俊	月・3	工 22	10	B	
48	データ解析概論	黒 岡 武 俊	火・2	工 22	若干名	B	
49	線形代数 I (A)	黒 岡 武 俊 須 加 実	火・4	共D 22	5	A	
50	細胞代謝学 I	佐 山 三千雄	木・1	工 22	10	B	
51	生命無機化学 I	篠 原 寛 明	木・2	工 31	若干名	A	
52	基礎生理学	中 村 真 人	木・2	工 22	若干名	B	
53	生命物理化学 I	伊野部 智 由	金・2	工 23	5	B	
54	細胞生物学	篠 原 寛 明	金・2	工 22	若干名	B	
55	生物反応工学	星 野 一 宏	金・2	工 21	5	B	
56	生化学 I	黒 澤 信 幸	金・4	工 23	3	A	
57	高分子物性化学	伊 藤 研 策	月・2	工 31	10	C	
58	工業有機化学演習	堀 野 良 和	月・2	工 24	若干名	B	
59	無機材料化学	會 澤 宣 一	月・5	工 24	5	C	
60	分子構造解析演習	遠 田 浩 司	火・2	工 24	5	C	

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
61	基礎化学工学	劉 貴 慶	火・3	工 31	5	B	
62	界面材料工学	伊 藤 研 策	水・2	工 32	10	C	
63	有機化学Ⅳ	堀 野 良 和	木・1	工 24	若干名	B	
64	微分積分Ⅱ	菅 野 憲	木・2	工 21	10	A	パソコン (Moodle) 使用
65	機器分析	遠 田 浩 司	木・2	工 24	5	C	
66	分析化学Ⅰ	加賀谷 重 浩	木・3	工 23	5	A	
67	反応工学	椿 範 立	木・3	工 24	若干名	B	
68	量子化学	石 山 達 也	木・4	工 24	若干名	B	
69	分子固体物性工学	宮 崎 章	金・1	工 12	10	C	
70	有機材料工学	米 山 嘉 治	金・3	工 12	5	B	
71	材料機能工学Ⅱ	佐 伯 淳	月・2	工 12	5	B	
72	材料加工法	柴 柳 敏 哉	火・1	工 12	3	B	
73	材料機能工学演習Ⅲ	柴 柳 敏 哉 吉 田 正 道 山 根 岳 志	火・2	工 12	5	B	

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	一般地質学	大 藤 茂	木・5	理 A424	若干名	A	
2	堆積学	佐 野 晋 一	火・2 金・3	理 A 336	若干名	B	前半（～11/22）開講
3	海洋物理学	田 口 文 明	火・3 金・2	理 A 336	若干名	B	前半（～11/22）開講 パソコン（Moodle）使用
4	災害地質学	立 石 良	月・3 木・3	理 A 336	若干名	B	後半（12/2～）開講
5	火山学	石 崎 泰 男	月・4 金・3	理 A 336	若干名	B	後半（12/2～）開講
6	地球内部物理学	渡 邊 了	月・5 金・2	理 A 336	若干名	B	後半（12/2～）開講
7	都市デザイン学総論	中 川 大 他	金・1	共通 C22	10	A	
8	デザインプレゼンテーション	矢 口 忠 憲	火・4、5	プロジェクト企画・クリエーション	5	B	後半（12/2～）開講
9	微分積分Ⅱ	竜 田 尚 希	木・1	共通 A23	5	A	
10	線形代数Ⅱ	井ノ口 宗 成	木・2	共通 A23	5	A	
11	データサイエンスⅠ／確率統計	堀 田 裕 弘	金・3	CAD コンピューター室	5	A	パソコン使用（端末室の授業）
12	構造力学の応用と橋梁・耐震	久保田 善 明 鈴 木 康 夫	月・4、5	CAD コンピューター室	5	C	前半（～11/18）開講 パソコン使用（端末室の授業） ※構造力学基礎を受講しているか、構造力学に関する基礎知識を有していることを前提
13	設計製図Ⅰ	阿久井 康 平	火・1、2、4、5	CAD コンピューター室	若干名	B	前半（～11/19）開講 パソコン使用（端末室の授業） ※演習 13,300 円
14	測量学及び実習	中 川 大 平 阿久井 康 平	水・3 金・3	CAD コンピューター室及び（工）21	若干名	B	前半（～11/22）開講 パソコン使用（端末室の授業） ※実習
15	地盤工学の応用と建設施工	原 隆 史	木・4、5	工 12	5	C	前半（～11/21）開講 ※地盤工学基礎を受講しているか、地盤工学に関する基礎知識を有していることを前提
16	応用数学	鈴 木 康 夫	月・3 木・3	工 21 工 12	5	B	後半（12/2～）開講 ※微分積分Ⅰ、Ⅱ、線形代数Ⅰ、Ⅱを受講しているか、同等の知識を有していることを前提
17	都市景観デザイン	久保田 善 明 阿久井 康 平	木・4、5 金・4、5	工 12	5	C	後半（12/5～）開講 13,300 円
18	都市と交通の基礎理論	中 川 大	火・2、3	工 32	5	B	後半（12/3～）開講
19	水理・水工学の応用と河川・海岸	木 村 一 郎	水・1、2	工 12	5	C	後半（12/4～）開講 ※水理・水工学基礎を受講しているか、水理・水工学に関する基礎知識を有していることを前提
20	プログラミング演習	春 木 孝 之	月・4、5 水・4、5	CAD コンピューター室	若干名	C	後半（12/2～）開講 パソコン使用（端末室の授業） ※プログラミング基礎を受講しているか、プログラミングに関する基礎知識を有していることを前提 ※実習 13,300 円
21	線形代数Ⅱ	布 村 紀 男	木・2	共通	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
22	物理化学Ⅰ	村 田 聡	木・3	工 21	若干名	A	
23	力学	並 木 孝 洋	木・4	工 21	若干名	A	
24	微分積分Ⅱ	柴 柳 敏 哉	金・2	共通 B21	若干名	A	

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
25	材料学概論	松田健二 李昇原	木・1	共通 A31	若干名	A	
26	材料加工学 I	會田哲夫	月・1 火・1	工 11	若干名	A	前半（～11/19）開講
27	応用数学	吉田正道	月・2 火・3	工 11	若干名	A	前半（～11/19）開講
28	循環資源材料工学 I	砂田聡彦 嶋山賢	月・3 木・2	工 11・27	若干名	B	前半（～11/21）開講
29	鉄鋼材料学	小野英樹	月・4 火・2	工 11	若干名	B	前半（～11/19）開講
30	固体物性工学序論	西村克彦	木・1 金・2	工 27・11	若干名	B	前半（～11/22）開講
31	結晶構造解析学	佐伯 淳	木・3 金・3	工 27・11	若干名	B	前半（～11/22）開講
32	移動現象論 I	吉田正道	月・3 火・3	工 11	若干名	B	後半（12/2～）開講
33	相変態序説	松田健二	月・4、5	工 11	若干名	C	後半（12/2～）開講 ※材料工学序論Ⅰ・Ⅱを受講していることを前提
34	環境材料学 I	星野一宏	火・2 木・3	工 11・27	若干名	A	後半（12/3～）開講

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

大学院名：大学院人間発達科学研究科

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試 聴 日	備考
1	発達臨床心理学特論演習	近 藤 龍 彰	水・3	研究室	3	D	-	パソコン(Moodle) 使用発表を担当できること
2	教育心理学研究法特論	近 藤 龍 彰	月・1	研究室	3	D	-	パソコン(Moodle) 使用発表を担当できること
3	教育データ解析法	小 川 亮	木・5	情報基盤センター3F	3	D	—	パソコン使用(端末室の授業)
4	学習心理学特論	小 川 亮	木・2	研究室	3	D	—	
5	発達心理学特論演習	姜 信 善	火・3	人間142	3	D	—	
6	実験社会心理学特論演習	佐 藤 徳	木・3	人間142	3	D	—	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院経済学研究科

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試験日	備考
1	産業構造変化と地域経済特殊研究	松井隆幸	水・5	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	
2	消費者行動論特殊研究	坂田博美	水・6	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	
3	東アジアの経済開発特殊研究	金奉吉	火・2	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	
4	管理会計論特殊研究	森口毅彦	火・4	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	
5	刑事訴訟法特殊研究	八百章嘉	木・3	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	
6	財政学特殊研究	中村和之	火・6	未定	若干名	D	10/2-8の間の初回授業	

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：大学院理工学教育部（理学領域）

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試 聴 日	備考
1	代数学特論 A	木 村 巖	月・2	理B 133	若干名	D	10月7日	パソコン (Moodle) 使用
2	解析学特論 B	阿 部 幸 隆	火・2	理B 133	若干名	D	10月8日	
3	応用数理解論 B	出 口 英 生	木・2	理B 133	若干名	D	10月24日	
4	解析学特論 D	藤 田 景 子	金・2	理B 133	若干名	D	10月4日	
5	凝縮系物理学 I	田 山 孝	火・5	理C 206	若干名	D	10月8日	
6	素粒子物理学 II	栗 本 猛	水・1	理C 204	若干名	D	10月2日	
7	場の量子論 II	柿 崎 充	水・2	理C 204	若干名	D	10月2日	
8	量子エレクトロニクス II	榎 本 勝 成	金・1	理C 206	若干名	D	10月4日	
9	不規則系物理学	池 本 弘 之	金・2	理C 105	若干名	D	10月4日	
10	生物無機化学	大 津 英 揮	月・2	理C 206	若干名	D	10月7日	
11	構造無機化学	柘 植 清 志	水・1	理C 206	若干名	D	10月2日	
12	機能性材料学	萩 原 英 久	水・2	理A 425	若干名	D	10月2日	
13	触媒化学	大 澤 力	木・1	理C 206	若干名	D	10月3日	
14	溶液化学特論	鈴 木 炎	木・5	理C 206	若干名	D	10月3日	
15	固体物理化学	田 口 明	金・1	理C 203	5名程度	D	毎回可能	
16	最先端化学特論	野 崎 浩 一	金・5	理A 425	若干名	D	毎回可能	
17	微生物生態学特論	田 中 大 祐	月・2	理C 204	若干名	D	10月7日	
18	同位体地球化学特論	堀 川 恵 司	月・3	理C 204	若干名	D	10月7日	
19	植物生態学特論	和 田 直 也	火・2	理C 204	若干名	D	10月8日	
20	進化生物学特論	石 井 博	木・3	理C 204	若干名	D	10月3日	
21	環境無機反応論	丸 茂 克 美	金・2	理C 204	若干名	D	10月4日	

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

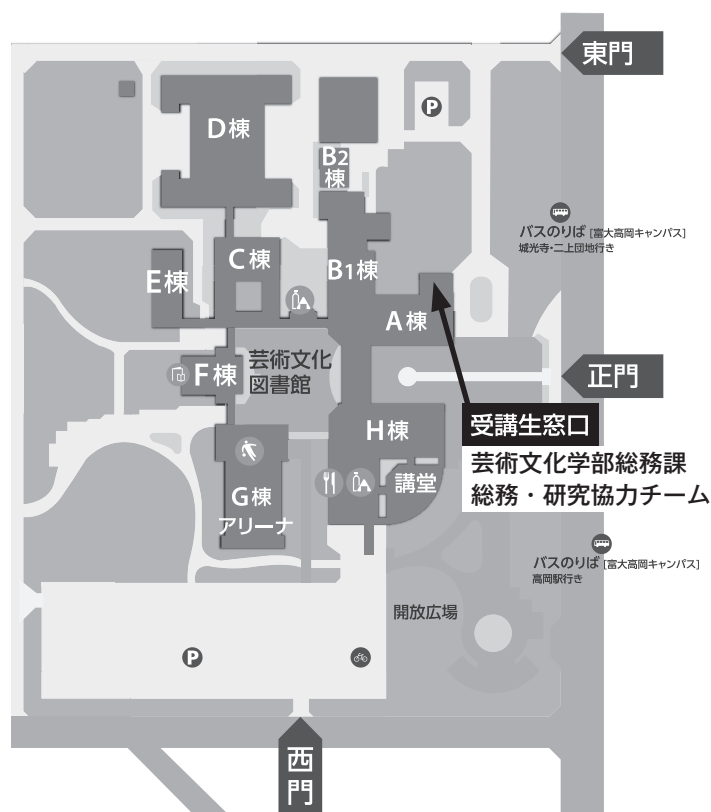
大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	計測システム特論第1	鈴木正康	月・2	工23	若干名	D	講義初回	
2	ロボット制御工学特論第1	平田研二	水・2	工25	若干名	D	講義初回	
3	生体システム特論第1	中島一樹	木・2	工23	若干名	D	講義初回	
4	基礎物性工学特論第1	喜久田寿郎	金・1	工23	若干名	D	講義初回	
5	神経情報工学特論第1	田端俊英	月・2	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
6	パターン情報処理特論	酒井充	月・3	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
7	システム工学特論第2	参沢匡将	火・2	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
8	シミュレーション工学特論第1	佐藤雅弘	火・4	工12	若干名	D	講義初回	
9	通信方式特論第2	角島浩	木・2	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
10	メディア情報通信特論第1	堀田裕弘	金・2	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
11	シミュレーション工学特論第2	春木孝之	金・3	工イノベ2	若干名	D	講義初回	
12	塑性力学特論	増田健一	火・1	工21	若干名	D	講義初回	
13	要素設計工学特論	小熊規泰	火・3	工21	若干名	D	講義初回	
14	ナノ機械システム特論	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	水・1	工イノベ3	若干名	D	講義初回	
15	制御機器特論	神代充	水・2	工33	若干名	D	講義初回	
16	流体工学特論	渡邊大輔	木・1	工イノベ3	若干名	D	講義初回	
17	計測システム特論	笹木亮	木・2	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
18	ロボティクス特論	関本昌紘	金・1	工第1端末室 (104)	若干名	D	講義初回	パソコン使用 (端末室の授業)
19	自律システム工学特論	保田俊行	金・2	工イノベ3	若干名	D	講義初回	
20	生物反応工学特論	星野一宏	火・1	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
21	薬理学・遺伝子工学特論	高崎一朗	金・2	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
22	環境分析化学特論	加賀谷重浩	月・1	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
23	有機工業化学特論	米山嘉治	月・2	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
24	計算分子科学特論	石山達也	月・5	工イノベ4	若干名	D	講義初回	
25	創薬工学特論	阿部仁	木・1	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
26	分子固体物性特論	宮崎章	木・2	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
27	界面分析化学特論	源明誠	金・1	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
28	素形制御工学特論	才川清二	月・2	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
29	計算材料工学特論	布村紀男	火・1	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
30	環境制御工学特論	砂田聡彦 山賢	火・2	工イノベ5	若干名	D	講義初回	
31	機能制御工学特論	佐伯淳	木・1	工イノベ1	若干名	D	講義初回	
32	鉄鋼材料工学特論	小野英樹	木・2	工イノベ1	若干名	D	講義初回	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- | | | | |
|----|---------------|---|-------------------|
| A | A 棟 | G | G 棟 [アリーナ] |
| B1 | B1 棟 | H | H 棟 レストラン・売店 (講堂) |
| B2 | B2 棟 | | |
| C | C 棟 生協コンビニ | | |
| D | D 棟 | | |
| E | E 棟 | | |
| F | F 棟 [芸術文化図書館] | | |

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学 芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

〒933-8588 富山県高岡市二上町180

TEL 0766-25-9138 FAX 0766-25-9104

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

I 実 施 形 態

(公開授業科目)

- 1 公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」(P30 参照)に記載のとおりです。
オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

- A 入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次生対象の授業)
- B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次生対象の授業)
- C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次生対象の授業)
- D 高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの(大学院生対象(ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC))*の授業)

授業内容の紹介(シラバス)は、本学ホームページの「Webシラバス(授業案内)」(<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>)に掲載されておりますのでご覧ください(トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください)。高岡キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院(修士又は博士前期課程)の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい(あるいは「学び直し」したい)とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

(募集定員)

- 2 募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。
「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。
また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン・クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

(開講期間)

- 3 **2019年10月2日(水)～2020年2月3日(月)**

(一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「2019年度後学期授業日程」でご確認ください。

(試聴授業)

- 4 試聴期間中の初回の授業は試聴授業として扱います。

(修了証書)

- 5 オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の2/3以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

- 6 オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（1時間を1単位とし、5単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ 受 講 手 続

(受講希望調書受付期間)

- 1 **2019年9月2日（月）～9月13日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

- 2 本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記高岡キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・Eメールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、Eメールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学 芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

〒933-8588 富山県高岡市二上町180

TEL：0766-25-9138 FAX：0766-25-9104

Eメール shougai@adm.u-toyama.ac.jp

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。（祝日を除く）

- 3 「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試聴日)

- 4 受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

(受講科目の登録)

- 5 受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試験日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要な書類等は次のとおりです。

- ・受講届
- ・受講料
- ・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試験期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

(受講料の納付等)

- 6 受講登録時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

1 授業科目 9,300 円 (税込) (大学院 (HGOC) も受講料は同額です。)

(一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄をご参照ください。)

なお、消費税率の引き上げが令和元年 10 月 1 日以降に施行される場合は、受講料 9,300 円は 9,400 円 (税込) に、13,300 円は 13,500 円 (税込) に変更となりますので、予めご了承ください。

また、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用 (材料費等) は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

(受講証の交付)

- 7 受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用ください。

Ⅲ 受講に際して

(受講生の義務)

- 1 受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

(受講の停止)

- 2 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

(休・補講、教室変更について)

- 3 これらの連絡は学務チーム掲示板 (A 棟 1 階 学務チーム入り口前) で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ (裏表紙の裏) をご参照ください。

(受講生の呼び出し等)

- 4 授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。
また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

(図書館の利用)

- 5 附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

(福利厚生施設の利用)

- 6 受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

(損害賠償)

- 7 受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

(保険制度)

- 8 授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

(通学方法)

- 9 キャンパスには駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ その他

- 1 「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

○芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

電話 0766-25-9138

- 2 授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので予めご了承ください。授業開始前には、毎回学務チーム掲示板をご覧ください。

- 3 受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

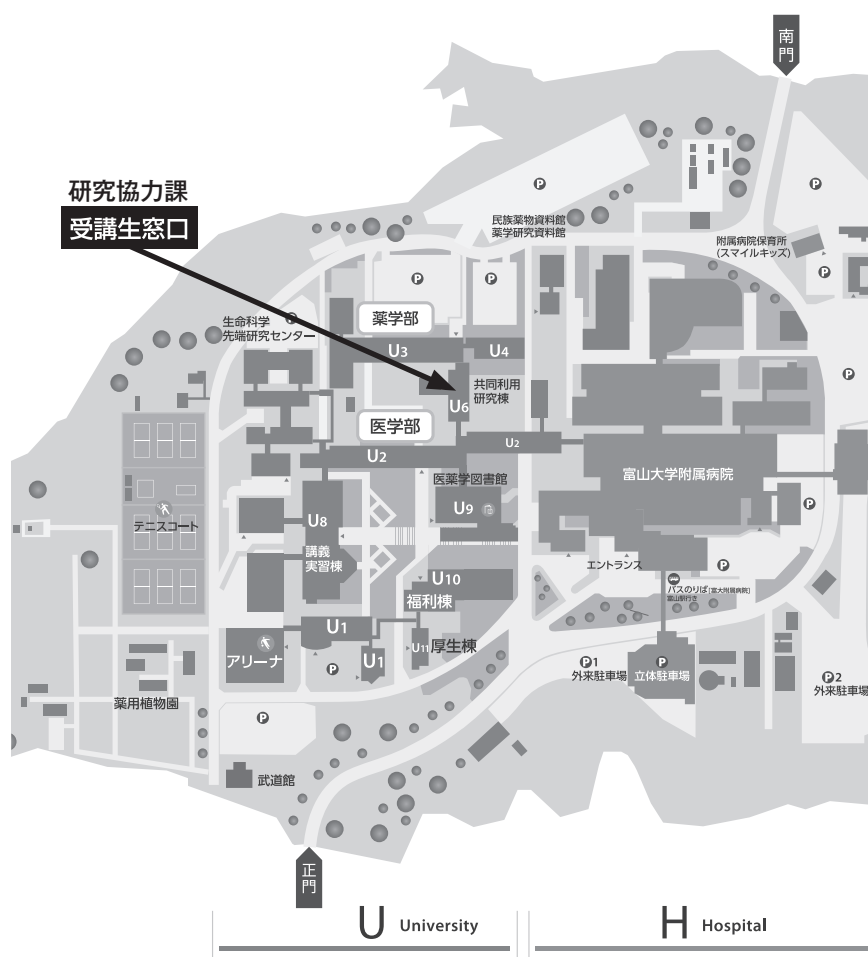
○専門科目

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備 考
1	漆加飾 C	小 川 太 郎	木・4、5	D-131 D-132	若干名	C	10/3	漆塗装 B を受講したか、同等の技術、知識を有することが望ましい。 専門性となる程度の技術力が必要とされます。 漆かぶれの危険性も高いカリキュラムです。ご勘案の上応募ください。 学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 作業服・材料費が別途必要です。 13,300 円
2	風景資源論 A	奥 敬 一	金・4、5	B-212	若干名	B	10/4	前半（～11/29）
3	材料の科学 (金属材料学)	長 柄 毅 一	火・1、2	H-281	若干名	A	12/2	後半（12/2～）
4	木質建築材料	堀 江 秀 夫	金・4、5	B-210	5	A	10/4	前半（～11/29）
5	材料力学	堀 江 秀 夫	火・1、2	E-456	5	B	10/8	前半（～11/26）
6	西洋美術史講読	松 田 愛	火・2	C-437	若干名	B	10/8.15	西洋美術史の流れを理解していることが望ましい。
7	アートマネジメント 概論	松 田 愛	火・4、5	B-116	若干名	A	10/8	前半（～11/26）
8	近・現代建築意匠	松 政 貞 治	水・1、2	C-221	3	B	10/2	前半（～11/27）
9	建築と文化	松 政 貞 治	木・4	C-221	3	A	10/3.10	
10	工芸基礎演習（金工）	三 船 温 尚	木・4、5	D-142 D-135	1	A	10/3	前半（～11/28） 「作業着、作業靴」必須。 要：傷害保険加入。
11	塗料化学	村 田 聡	火・2	B-210	若干名	A	10/8.15	
12	建築計画	藪 谷 祐 介	金・1、2	B-117	5	B	12/2	後半（12/2～）
13	異文化理解文献研究 (中国語)	山 田 眞 一	火・4	B-211	若干名	C	10/8.15	ピンインがついていない中国語が読めること
14	コミュニケーション デザイン概論	有 岡 行 男 小 田 知 久 田 夕 香 理	金・1、2	B-116	数名程度	B	12/2	後半（12/2～）
15	デザイン概論	内 岡 和 美 渡 本 知 久 邊 雅 志	木・1、2	B-116	10	A	10/3	前半（～11/28） デザインの基礎を学びたい人向け
16	芸文基礎演習 D	河 原 雅 典 ペルトネン 純子	木・3	B-213	4	A	10/3.10	2 クラス開講につき、1 クラスあたり 2 名の受入。 要：傷害保険加入。
17	工芸技法・材料	高 橋 誠 一 清 水 克 朗 内 藤 裕 孝	火・4、5	B-210	5	A	10/8	前半（～11/26）

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



医学部	U1	看護学科研究棟	U6	共同利用研究棟
	U2	医学部研究棟	U8	講義実習棟
薬学部	U3	薬学部研究棟	U9	医薬学図書館
			U10	福利棟
			U11	厚生棟

<杉谷キャンパス受講生窓口>

富山大学 医薬系事務部 研究協力課

〒930-0194 富山市杉谷 2630

TEL 076-434-7143 FAX 076-434-4656

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

I 実 施 形 態

(公開授業科目)

- 1 公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」(P36 参照)に記載のとおりです。
オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

- A 入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次生対象の授業)
- B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次生対象の授業)
- C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次生対象の授業)
- D 高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの(大学院生対象(ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC))*の授業)

授業内容の紹介(シラバス)は、本学ホームページの「Web シラバス(授業案内)」(<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>)に掲載されておりますのでご覧ください(トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください)。杉谷キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院(修士又は博士前期課程)の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい(あるいは「学び直し」したい)とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

(募集定員)

- 2 募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。
「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。
また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン・クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

(開講期間)

- 3 **2019年10月2日(水)～2020年2月3日(月)**

(一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の2019年度後学期授業日程でご確認ください。

(試聴授業)

- 4 「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

(修了証書)

- 5 オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の2/3以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

- 6 オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（1時間を1単位とし、5単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ 受 講 手 続

(受講希望調書受付期間)

- 1 **2019年9月2日（月）～9月13日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

- 2 本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記杉谷キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・Eメールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、Eメールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学 医薬系事務部 研究協力課

〒930-0194 富山市杉谷 2630

TEL 076 - 434 - 7143 FAX 076 - 434 - 4656

Eメール kenkyo@adm.u-toyama.ac.jp

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。（祝日を除く）

- 3 「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試聴日)

- 4 受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

(受講科目の登録)

- 5 受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。

杉谷キャンパス受講生窓口で、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要な書類等は次のとおりです。

- ・受講届
- ・受講料
- ・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴日に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

(受講料の納付等)

- 6 受講登録時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

1 授業科目 9,300 円 (税込) (大学院 (HGOC) も受講料は同額です。)

(一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)

なお、消費税率の引き上げが令和元年 10 月 1 日以降に施行される場合は、受講料 9,300 円は 9,400 円 (税込) に、13,300 円は 13,500 円 (税込) に変更となりますので、予めご了承ください。

また、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

(受講証の交付)

- 7 受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は 1 枚のみの発行となります。

Ⅲ 受講に際して

(受講生の義務)

- 1 受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

(受講の停止)

- 2 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

(休・補講、教室変更について)

- 3 これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）をご参照ください。

(受講生の呼び出し等)

- 4 授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

(図書館の利用)

- 5 附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

(福利厚生施設の利用)

- 6 受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

(損害賠償)

- 7 受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

(保険制度)

- 8 授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

(通学方法)

- 9 キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。なお、杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください

Ⅳ そ の 他

- 1 「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

○医薬系学務課 学部教務チーム

電話 076-434-7131

- 2 授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

- 3 受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○専門科目

学部等名：医学部

番号	授業科目名	担当教員 氏 名	授業曜日 ・ 時 限	教 室	募集定員	難易度	試験日	備 考
1	救急・災害医学	奥 寺 敬	その他	講義実習棟 202	2	C	2月14日	8回開催(2/14～) 7,300円

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

2019 年度後学期 富山大学オープン・クラス（公開授業） 受講希望調書

住 所	〒		
フリガナ 氏 名		性 別	男・女
電 話 (携帯電話)			
年 齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。なお、既に登録済みの方はご記入いただく必要はありません。 e-mail :			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等			
授 業 科 目	番 号 ()		
担 当 教 員			
授業曜日・時限	曜 日 限		
授 業 で の パソコン使用	(該当する方に○を付けてください) 有 ・ 無 (有の場合) 端末室の授業 ・ Moodle 使用		※科目一覧の備考欄に「パソコン使用」とある場合に、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となります。

※ 本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**9月2日（月）から9月13日（金）まで**に各キャンパス受講生窓口にて提出してください。郵送、FAX、Eメールも受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写してご使用ください。なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※ オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

※ ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

携帯電話・パソコンで授業の 掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や緊急情報を、携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のURLは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/



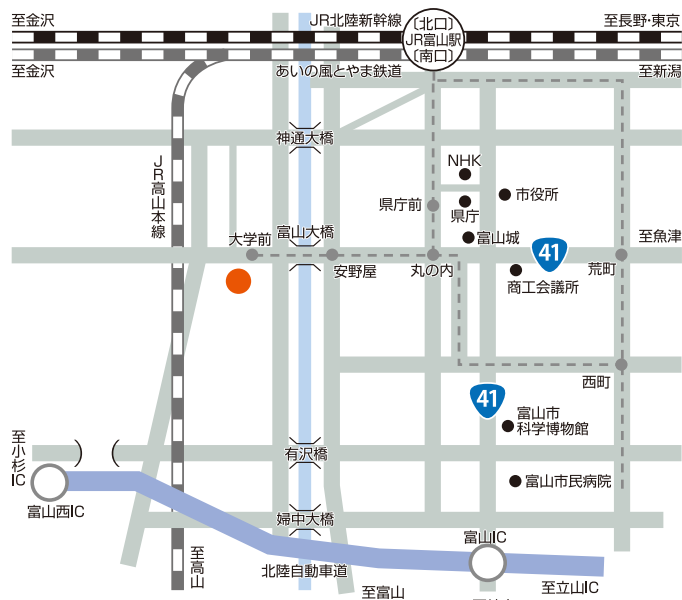
QRコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のQRコードからアクセスできます。

<留意事項>

* 本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内
掲示板をご確認ください。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

* 掲示の内容は10分毎に最新の掲示情報に更新されます。

* 台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。



五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福 3190

人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部
都市デザイン学部、人文科学研究科、人間発達科学研究科
経済学研究科、理工学教育部、教職実践開発研究科



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町 180

芸術文化学部、芸術文化学研究科



杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷 2630

医学部、薬学部、生命融合科学教育部、医学薬学教育部



富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門 <http://www.life.u-toyama.ac.jp>

〒930-8555 富山市五福 3190 TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033 e-mail lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性®
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

